

# 大館市の70%は森林

## よみがえ 間伐で美林を甦らせよう

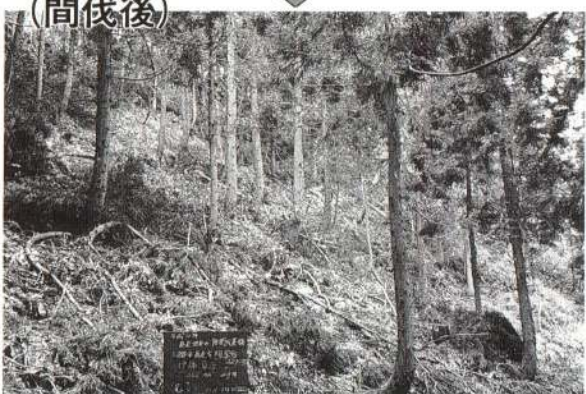
### 大館市森林整備事業

市の総面積40,154haのうち70%、28,109haが森林です。しかし、木材価格の低迷や後継者不足などにより、せっかく植林を行っても手入れ不足のために荒れ放題の森林が多く見られます。森林資源の維持と自然環境の保全のため、市では、大館市森林整備事業として間伐による森林の整備を進めています。あなたの森林を甦らせるためにこの事業をご活用ください。

☎ 農林課 49-3111 (内線291)



(間伐前)

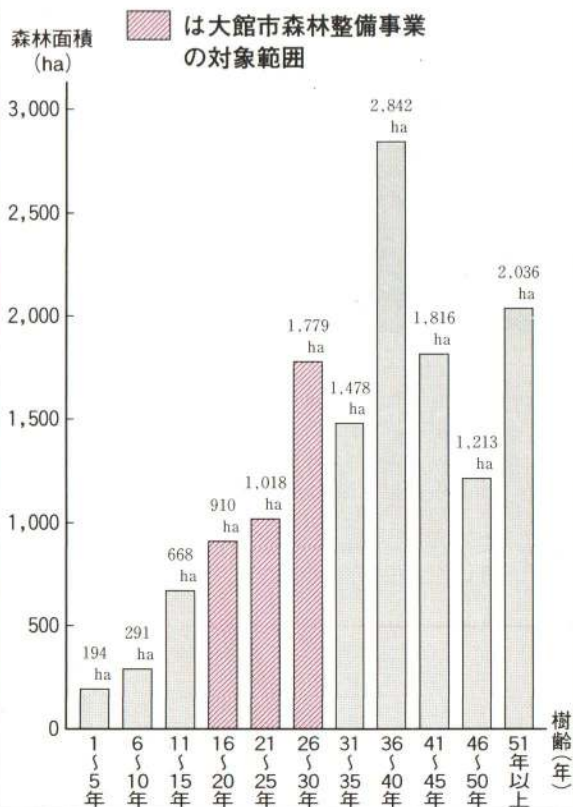


(間伐後)

### なぜ間伐が必要なの？

杉は植栽すると自然に成長すると思われがちですが、利用価値のある立派な木になるまでには下刈りや除伐、枝打ちなどさまざまな手入れを必要とします。なにより重要なのは、一定の樹齢に達したときに、不良木を除去し、適切な立ち木の密度を保つことです。これにより、太陽の光が立ち木全体に広がり木の成長が促進されます。また、病虫害を防いだり、山地そのものの保護育成が図られます。樹齢が十六年から三十年までの間伐を必要としている杉人工林は、市内の杉人工林全体の二六%となっています。

### 杉人工林の樹齢別面積(大館市)



### ご相談ください

市では、大館市森林整備公社を設置して、ご相談に応じています。自分の林がどこにあるか、範囲はどこまでかなど、境界の確定から面積の測量、木の成育状況まで公社の職員が現地調査を行いますので、お気軽にご相談ください。

### 事業の対象と負担金

樹齢が十六年から三十年までの杉人工林で、面積が〇・一畝から五畝までの一度も間伐を行っていない森林が対象となります。事業が決定されますと、市が業者に発注し間伐を行います。事業の補助制度を活用しますと、所有者は事

豊かな森林をつくるため、  
お気軽にご相談ください。

### 不思議な現象は「雪まくり」

広報2月16日号の裏表紙「パチット!」での不思議な現象が、読者のお手紙・お電話で分かりました。高橋喜平著「雪と水の造形」によると「平地に雪が降ったあと、急に気温が零度内外に昇り、そのときに突風が吹くと、雪が海苔巻状に転がってゆく」現象で、一般には「雪まくり」という名称が定着しているそうです。興味のあるかたは、中央図書館へどうぞ。